

令和元年度

学校評価



- R1年度重点目標に対する結果
- R1年度重点目標に対する職員の評価と意見
- R1年度自己評価集計結果
- R1年度学生による授業評価のまとめ
- R1年度授業に対する学生の意見
- R1年度学校見学会参加者数とR2年度入試受験者数
- R2年度在籍者の出身高校

秋田県歯科医療専門学校

令和元年度重点目標に対する結果

有能な歯科医療従事者育成のために充実した教育の実践に取り組む
～業務改善に取り組み、自己研鑽できる職場環境づくり～

<具体的な目標値>

① 目標項目：実習中の医療事故・同じ内容のインシデント数

◇元年度目標値：0件 (30年度) 0件/学生の針刺し事故3件, 傷害事故1件
(29年度) 0件/学生の針刺し事故0件, 傷害事故0件

インシデント数：報告されていない 0 件

実習中の 針さし事故については 0 件、傷害事故 0 件 評価「B」

② 目標項目：国家試験合格率

◇元年度目標値：100% (30年度) 100% (29年度) 100%

令和元年卒業50期生について、全員が合格。合格率100%だった。

現役生においては4年連続し合格率100%となった。 評価「A」

③ 目標項目：県内就職率

◇元年度目標値：85% (30年度) 67.5% / 40名 (県内27名, 県外13名)
(29年度) 92.1% / 38名 (県内35名, 県外3名)

卒業生35名のうち、35名が就職を希望し、県内に25名、県外に10名が就職。

県内就職率は 71.4% となった。 評価「B」

④ 目標項目：推薦入試応募者数

◇元年度目標値：応募者数 0.6倍 (30年度) 0.36倍 / 18名：Ⅰ期15, Ⅱ期3
(29年度) 0.56倍 / 28名：Ⅰ期28, Ⅱ期0

元年度(令和2年度入試)は合計22名が受験し全員を合格とした。

合格者の内訳は次の通りである。()内は入学者数。

・推薦入試 Ⅰ期 16名(16) Ⅱ期 2名(2) 合計 18名(18)

・社会人入試 Ⅰ期 1名(1) Ⅱ期 0名(0) 合計 1名(1)

・一般入試 Ⅰ期 1名(1) Ⅱ期 2名(2) 合計 3名(3)

推薦入試応募者は 18名 であり、定員に対する倍率は 0.36倍 であった。 評価「B」

⑤ 目標項目：自己研鑽に取り組んだ職員

◇元年度目標値：100% (30年度)：100% (29年度)：100%

元年度中の研修については、予定通り実施されている。実施率100% 評価「A」

令和元年度重点目標に対する職員の評価と意見

①今年度の重点目標の達成の度合いはどの程度だと思いますか。

※つぎの基準で評価してください。

A 達成 B ほぼ達成
C やや不十分 D 不十分

A=4, B=3, C=2, D=1として
計算したときの平均値

令和元年度重点目標		評 価
1	臨地臨床実習において、事故防止のための安全教育に努めるとともに、同じ内容のインシデント数を減らす。	2.8
2	患者等に対し安全な歯科衛生の技術が提供でき、科学的思考と主体的実践能力を備えた人間性豊かな人材を育成し、国家試験合格率100%を目指す。	3.8
3	秋田県の歯科医療の充実を図るため、県内医療機関等への就職率の向上を図る。	2.8
4	少子化が進み、入学希望者の減少が予測される。高校訪問等を実施し、推薦入試への応募者の増加を図る。	2.7
5	業務改善に取り組み、研究や研修会参加などの教員が増えることで、各自が目的をもって取り組める職場を目指す。	3.8

②今年度の重点目標に対する取組で良かった点、不十分な点を具体的に上げて下さい。

- ・全体的に目標は達成している。
- ・すべての取り組みで成果があり、良かった。
- ・高校訪問や進学ガイダンスに力を入れ、積極的に取り組んだ。
- ・ヒューマンエラーはどうしても起こってしまうが、今まで以上に日々に実習等でも繰り返し教育していきたい。

③来年度に向け、目標達成のため効果があると思われる取組があればお書き下さい。

- ・国試対策において少人数で教え合う学習スタイルは今後も効果が期待できる。
- ・入学対象となる生徒数が減少しているため、中学生への学校の認知度を上げるよう務めるべきである。
- ・グループ学習することで、学生同士が教え合うことができ、効果があったように思う。
- ・歯科衛生士という職業を広く知ってもらうため小・中学生にもPRできる活動を検討してはどうか。健康習慣、虫歯予防デーに合わせて周知活動をして良いのではないか。
- ・歯科衛生士に対し良いイメージの知名度をあげ、小中学生にもアピールできれば良い。

④今年度の重点目標の他に、来年度重点的に取り組んだら良いと思われることがあればお書き下さい。

(意見はありませんでした)

令和元年度「学校評価」 自己評価集計結果

評価分野	番号	学校が設定する評価項目	A : 適切 B : ほぼ適切 C : やや不適切 D : 不適切				A=4 B=3 C=2 D=1	平均値	昨 年 平 均
			4 段 階 評 価						
1 教育理念・目標	1	理念・目標・育成人材像は定められているか (専門分野の特性は明確になっているか)	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	2	社会のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	3	理念・目標・育成人材像等は学生や保護者に周知されているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	4	各学科の教育目標、育成人材像は、職業領域のニーズに向けて方向付けられているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
2 学校運営	5	学校の設置目的に沿った運営方針が策定されているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	6	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	7	運営組織や意志決定機能は規程等において明確化され、有効に機能しているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	8	人事・給与に関する制度は整備されているか	A	B	(C)	D	2.4	2.4	
	9	教務・財務の意志決定システムは整備されているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	10	各職業領域の法を遵守し、公平・公正に業務に従事するような体制が整えられているか	(A)	B	C	D	3.9	3.7	
	11	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	(A)	B	C	D	3.9	3.4	
	12	情報システム化等による業務効率化が図られているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
3 教育活動	13	教育理念に沿った教育課程の編成がなされているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	14	教育理念・育成人材像や職業領域のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	15	カリキュラムは体系的に編成されているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	16	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	17	病院・診療所などの管理者・指導者等からの意見を聞き、カリキュラム運営の参考にしているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	18	関連分野において、実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	19	授業評価の実施・評価体制はあるか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	20	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	21	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	22	職業領域からの優れた講師の確保などマネジメントが行われているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	23	職員の能力開発のための研修等が行われているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	

評価分野	番号	学校が設定する評価項目	A : 適切 B : ほぼ適切 C : やや不適切 D : 不適切				A=4 B=3 C=2 D=1	平均値	昨 年 平 均
			4 段 階 評 価						
4 学 修 成 果	24	就職率の向上は図られているか	(A)	B	C	D	4.0	4.0	
	25	資格取得率の向上は図られているか	(A)	B	C	D	4.0	4.0	
	26	退学率の低減は図られているか	A	(B)	C	D	3.3	3.0	
	27	卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	(A)	B	C	D	3.6	3.0	
	28	卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校教育活動の改善に活用されているか	A	(B)	C	D	3.3	2.6	
5 学 生 支 援	29	就職に関する支援体制は整備されているか	(A)	B	C	D	3.6	4.0	
	30	学生相談に関する体制は整備されているか	(A)	B	C	D	3.9	4.0	
	31	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	(A)	B	C	D	3.9	3.0	
	32	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	(A)	B	C	D	3.9	3.7	
	33	学生の生活環境への支援は整備されているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	34	保護者と適切に連携しているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	35	卒業生への支援体制はあるか	(A)	B	C	D	3.7	3.4	
	36	高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	A	(B)	C	D	3.4	3.0	
6 教 育 環 境	37	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	(A)	B	C	D	3.6	3.6	
	38	学内外の実習施設について、十分な教育体制を整備しているか	(A)	B	C	D	4.0	4.0	
	39	防災に対する体制は整備されているか	(A)	B	C	D	4.0	4.0	
7 学 生 募 集	40	学生募集活動は適正に行われているか	(A)	B	C	D	3.9	3.7	
	41	学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
8 財 務	42	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	(A)	B	C	D	3.7	—	
	43	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	44	財務について会計監査が適正に行われているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	45	財務情報公開の体制整備はできているか	(A)	B	C	D	3.9	—	
9 法 令 等 の 遵 守	46	法令、専修学校設置基準等の遵守と運営がなされているか	(A)	B	C	D	4.0	4.0	
	47	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	48	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	(A)	B	C	D	3.9	3.9	
	49	自己評価結果を公開しているか	(A)	B	C	D	3.8	—	
自由記述欄	特になし								